

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 22.10.21 第 176 回国会第 2 号

10月21日(木) 第2回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件

- ・前原外務大臣、北澤防衛大臣、古川内閣官房副長官、安住防衛副大臣、松本防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

神 風 英 男君(民主)

- ・1978年に来日した鄧小平副首相(当時)の「尖閣諸島に係る問題の棚上げ」提案に関し、日中間で暗黙の了解があったのではないのか。暗黙の了解は修正し、尖閣での自衛隊常駐や施設の建設を行うべきではないのか、前原外務大臣及び北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・すべての国への武器輸出を規制する武器輸出三原則等の見直しについて北澤防衛大臣は積極的な姿勢を示されているが、閣内での議論の見通しについて北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・沖縄に集中している在日米軍専用施設・区域を自衛隊が管理し米軍が共同使用する方式に改めることが沖縄県民の負担の軽減につながると考えるが、防衛省の見解を伺いたい。

下 地 幹 郎君(国民)

- ・尖閣諸島に係る問題に対応するため、内閣に専属の対策室を設置する必要があると考えるが、古川内閣官房副長官の見解を伺いたい。
- ・「再編実施のための日米のロードマップ」においては、2014年までに普天間飛行場代替施設の完成が目標とされ、その後、在沖縄海兵隊の一部がグアムへ移転することが合意されているが、普天間飛行場代替施設の完成及び在沖縄海兵隊のグアムへの一部移転は合意どおりに実施できると前原外務大臣は考えているのか、伺いたい。また、同合意を実施できるかどうかについて、米国と真摯に話し合う必要があると考えるが、前原外務大臣の見解を伺いたい。

岩 屋 毅君(自民)

- ・これまでに日米間で2度合意している普天間飛行場の辺野古への移設に関し、我が国の事情で実施できない事態となれば、日米関係に深刻な影響を及ぼすと考えられるが、前原外務大臣及び防衛省の認識を伺いたい。

- ・本年11月のオバマ大統領来日時に発出を予定していた新たな「日米安全保障共同宣言」が先送りとなったと報道されているが、日米安保の強化が最も必要とされる時に「新宣言」を発出できない責任について、前原外務大臣及び防衛省の認識を伺いたい。
- ・尖閣諸島周辺海域において中国漁船が海上保安庁巡視船に衝突した事案は、当初より外交問題に発展する可能性のある問題であり、検察当局に任せるのではなく、政治が正面に立って対応し、政治主導の必要性を国民に説明すべきではなかったのか、前原外務大臣の見解を伺いたい。

新 藤 義 孝君(自民)

- ・中国及び韓国等の周辺国との友好関係は大事ではあるが、国家として、領土、領海及び主権の問題は譲歩できないことを踏まえ、今後の日中関係において、これらの問題について、どのような態度で取り組んでいくつもりなのか、前原外務大臣の見解を伺いたい。
- ・現在無人で、政府が上陸を禁止している尖閣諸島の実効支配を強化するため、同諸島の利用方法を早急に予算を付けて調査する必要があると考えるが、前原外務大臣に見解を伺いたい。
- ・中国の漁船監視船が尖閣諸島周辺海域や東シナ海に派遣されていることに対し、北澤防衛大臣は、どのように認識しているのか。また、今後自衛隊の任務に領域警備を加えるべきと考えるが、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。

木 村 太 郎君(自民)

- ・本来であれば、既に新たな防衛大綱が策定されていなければならないと考えるが、新たな防衛大綱が策定されていない現状について、国民にどう説明するのか、北澤防衛大臣に伺いたい。
- ・中国のレアアースの輸出制限が、自衛隊の装備あるいは我が国の防衛産業に与える影響について、防衛省の認識を伺いたい。

- ・ 防衛装備や防衛産業の分野には、我が国でしか生産できないものや技術があるが、今後我が国あるいは世界の安全保障に貢献するためにも、戦略的に活用してゆくことも大事だと考えるが、防衛省の見解を伺いたい。

佐藤茂樹君（公明）

- ・ 本年 11 月に予定されているオバマ米国大統領の再来日の際、日米安全保障体制の深化を何らかの形で成果物として示すべきと考えるが、前原外務大臣の見解を伺いたい。
- ・ 南西諸島の防衛について、日米共同の防衛作戦計画の策定や実動を伴う共同訓練を行うべきと考えるが、防衛省の見解を伺いたい。
- ・ 自衛隊による国際平和協力活動は、必ず国連決議に基づいて行われるべきか否かについて、北澤防衛大臣及び前原外務大臣の見解を伺いたい

赤嶺政賢君（共産）

- ・ 普天間飛行場代替施設建設問題に関し、本年 8 月に行われた日米専門家会合において、V 字案の軍用機飛行経路は台形をたどるとする日本政府の従来の説明は間違いであり合意していない旨、米側から発言があったと報道されているが、事実関係及び飛行経路についての認識につ

いて、北澤防衛大臣に伺いたい。

- ・ V 字案の飛行経路については、日米間で、いつ、誰と誰が、どのように合意したのか、その経緯について防衛省に伺いたい。
- ・ 普天間飛行場へのオスプレイ配備について、住民への危険性を考慮し、拒否すべきと考えるが、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。

照屋寛徳君（社民）

- ・ 北澤防衛大臣は、沖縄県の米軍基地問題について全力で取り組むとされているが、その決意と具体的な方策について伺いたい。
- ・ 政府が沖縄県民の負担軽減を口にする一方で、沖縄県民は常に米軍基地の運用が優先されていると感じているが、米軍基地の運用と沖縄県民の負担軽減のどちらを重視しているのか、前原外務大臣の認識を伺いたい。
- ・ 嘉手納飛行場や普天間飛行場等の周辺住民は、毎日耐え難い爆音にさらされていることを踏まえ、外務省及び防衛省の政務三役は、自ら現地視察をし、直接現地で米軍に早急な対策の実施を申し入れるべきと考えるが、北澤防衛大臣及び前原外務大臣の見解を伺いたい。